

◆さっぽろ「地球村」横澤はるみさん

私たちの団体では、地球温暖化の防止を目指すキャンペーンを独自に行っています。この問題について、市民が気軽に相談できる場所を市役所や区役所内に作り、地域で取り組むのはどうでしょうか。東区では街路樹や花を増やして二酸化炭素を減らすなど、楽しいアイデアを実現していきたいです。

◆市長から 地球温暖化は緊急問題としてとらえています。私の出身地である幕別町でも昔に比べ寒い日が少なくなつたように感じます。気温の上昇は着実に進んでいるのではないのでしょうか。冬が楽になつたと喜んでる場合ではありません。北国に住み、温暖化を実感できるからこそ、温暖化防止につい



て一人ひとりが本気で取り組まなければならぬと思います。今年、市の環境局では、NPO法人地球村と協働で、環境家計簿を付けようという運動を始めています。市民の方にコンピュターに登録していただき、みんなで省エネの記録を付けるというもので、どれだけ努力したか、どれだけ成果があつたかが分かるようになっていきます。「広報さっぽろ三月号(12頁)」に掲載していますので、ぜひ参加してください。



◆「東区健康ふれあい推進会」橋井 信さん
健康づくりに関するさまざまな活動をしています。財政面では難しさがあるとは思いますが、今の助成金を継続的にお願いしたいと思えます。

◆市長から 市民活動の難しさが資金不足にあることは承知しています。そこで、資金調達の方法を考えることを提案します。これは会員を増やしていく、活動をどんどん広げていくということです。
また、寄付金のあり方を「取られた」と感じる集め方ではなく、活動に対する参加という形に変えていく努力も必要です。それで寄付が集まって活動が広がれば、もっと良い活動になつていくのではないのでしょうか。

今年度も、あなたの街へ出掛けます

札幌市長 うえだ ふみお 上田 文雄

昨年6月に市長に就任して以来、9月の西区を皮切りに6カ月間で10区を一巡した「タウントーク」。まず何よりも、皆さんとじかに顔を合わせて、札幌のまちづくりについて熱く語り合えたことを大変うれしく思っています。

これまでの参加者は、約1,400人に上りました。中でも、直接お話できる方はさらに限られてしまいます。そうした面を踏まえ、今後も、全世界にお届けしている広報誌を通じて、皆さんの意見や提案、そして、それに対する私の考えを広くお伝えしていくことが大切だと考えています。

今年度も、より多くの市民の方に関心を持っていただけるよう、各区で工夫を凝らした「タウントーク」を実施します。機会があればぜひ会場へ足を運んでみてください。